

平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市中村地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

・中村地区の人口は約 15,200 人、15 歳未満は 1380 人、65 歳以上は 4,600 人で高齢化率は 30.19%です（29 年 3 月）。昭和 45 年と比較すれば、全人口は 64%まで減少しています。この 10 年の間に 65 歳以上高齢者人口は 13%増、年少人口は 15%減となり、少子高齢化が一層進んでいます。また、要支援・要介護認定率は、市ケアプラザ単位で最も高いうえ、65 歳高齢者の単身化率は、不老町、浦舟に次ぎ市内三番目となっており、地域で高齢者を支援していく状況はますます厳しくなっています。

・戸建ての住宅密集地であり狭小住宅が多く、地区の北部は首都高速狩場線が跨いでいます。中村川に面し、平地のため買い物を含め生活しやすい環境です。一方、丘陵地にある唐沢、平楽地区は急こう配の坂が多いほか、商店が近隣にほとんどなく、買い物するためには坂を下りなければなりません。ライフラインである公共交通機関は一路線バスのみで、高齢者や障がい者には暮らしにくい面もあります。

・課題は山積しています。生産人口も減少の一途で、次代を担う後継者が育成できていない、要介護認定率が高い上に高齢者の単身化率が高い、年少人口の減少、被保護率が非常に高い等、地域の活力が徐々に失われています。地域活動を継続させること、また現状に即した地域活動へ移行するにはあらたな人材を発掘することが急務であり、従来の考え方に縛られることなく、大胆な対策がないか、検討していきます。

・地区社協の第 3 期地域福祉保健計画スローガンは「小さな輪を大きな輪へ！～広げよう地域の和～」です。今後は活動を地域に広げる支援が必要と思われますが、上記に記載したように容易ではないと認識しています。

・28 年度は中村地区社協の「活動強化の支援を」行いましたが、人口減少など多くの課題に向けてはケアプラザだけではなく、地域住民も大胆な発想の転換をしないとできないと考えています。

・28 年度は冒頭記したように、地域の現状を数値化し、問題点を改めて洗い出しました。厳しい状況ではあるものの、中村地区は、市営地下鉄「伊勢佐木長者町駅」「阪東橋駅」、JR 根岸線「石川町駅」から徒歩圏ですし、元町、中華街、イセザキモールなど横浜を代表する観光地からも歩ける位置にあります。特色ある活動を続けられ、また新たに魅力ある街になることを地域で共有し、意識していきたいと考えています。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 市民利用施設として安全性の確保と、良好な機能の保持を目的として、建物・設備の適切な維持管理を行いました。建物・設備の保守点検及び清掃はそれぞれ専門の管理保守業者に委託し、さらに設備総合巡視点検業者による月1回の点検を実施して安全を確認しています。
- ・ 施設の運営に支障をきたさないように建築物や設備等の破損または汚損に対する予防保全に努め、破損または汚損を発見した際には、速やかに回復または保全する措置を行い、その結果を市及び区の関係機関へ速やかに報告しています。
- ・ 28年度は、漏水防止工事などを集中的に実施したほか、開所以来初めて貸館用の椅子を半数入れ替えるなどしました。今後も適宜工事・交換をしていきます。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ 各事業とも職員からの意見をもとに効率を高めるための問題を抽出し、必要に応じた改善を随時行いながら運営しています。
- ・ 所内のパソコンをネットワークに組むことで、各職員への情報提供がスムーズに行えるように運営しています。
- ・ 事務所内に行動予定表を設置、職員の行動予定が一目でわかるようにし作業連携が効率よく確実に行えるようにしています。

ウ 苦情受付体制について

- ・ 地域住民又は介護保険利用者方から業務遂行上の苦情があった場合は、真摯な態度で受け止め、誠意をもって対応する姿勢を職員一人ひとりに教育に努めます。
- ・ 苦情対応責任者と、各事業に苦情受付担当を設置して公表しています。
苦情解決責任者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 所長：秋葉 岳志
地域活動交流受付担当者・・・・・・・・・・・・・・ コーディネーター：石村 篤
生活支援受付担当者・・・・・・・・・・・・・・ コーディネーター：神谷 由美子
地域包括支援センター受付担当者・・・・・・・・・・ 主任ケアマネジャー：池田 泰信
居宅介護支援事業受付担当者・・・・・・・・・・・・ 管理者：星 勉
通所介護サービス受付担当者・・・・・・・・・・・・ 管理者：横山 太一
認知症対応型通所介護サービス受付担当者・・・・・・・・ 管理者：同上
- ・ 苦情内容は記録として残し原因追求を図っています。
- ・ 重要課題については法人として設置している第三者委員会に連絡・相談の上、適切な対応・解決に結び付けられるようしています
- ・ 地域利用者からの苦情やニーズ把握のため館内にご意見箱を設置しています。

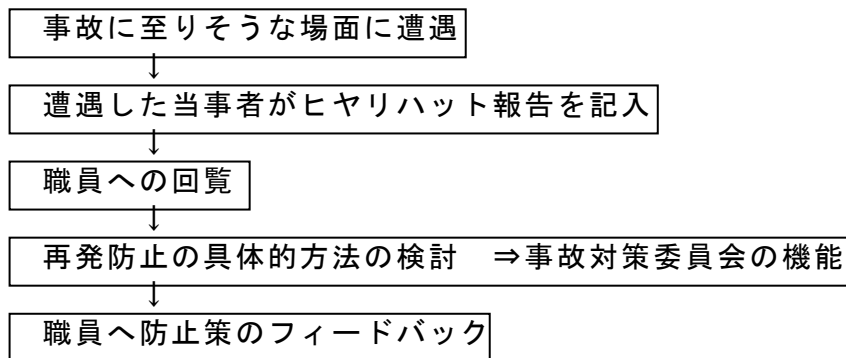
エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 防犯対策及び防災対策のマニュアルを基に職員の指導を行い、大規模な事故や災害等の緊急事態が発生した場合は、速やかに必要な措置を講じるとともに関係者等に対して緊急事態発生旨を通報しています。
- ・ 近隣の八幡町交番、南警察署生活安全課と連携して不審者の来所等に対応できる体制を整えています。
- ・ AED 機器を設置して職員研修を行うことで、救急時により的確な対応が出来るように常に備えています。
- ・ 大災害時などで所長不在時に対応できるよう、職務代理順位を新たに決めました。

オ 事故防止への取組について

- ・ 事故防止に関しては指定管理者受託法人内に事故対策委員会を設置しこれに取り組みます。また、サービス提供時に発生したヒヤリハットは下記のチャートの順にそのすべてを検討し、事故防止に関する重要な情報として活用しています。

* ヒヤリハット報告（インシデント報告）の活用サイクル



カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 年度当初に個人情報の取り扱いのルールについての研修を実施しています。
- ・ 個人ファイル等、個人を特定できる情報及び家族等特定の個人を識別できる書類は事業所内の施錠できる場所に保管して管理しています。施錠管理については部毎に責任者と所長が鍵を所持しています。
- ・ 個人ファイル等の個人情報は、直接担当者以外は許可を得ての閲覧としています。
- ・ 事業所外への持ち出しは原則禁止し、担当者会議等で持ち出さなければならない場合は所長または事業管理者の許可を得てから持ち出すこととしています。
- ・ 個人情報記載文書の FAX 送信、郵送時には個人情報部分をマスキングする等の注意を払います。また、デイサービスの連絡帳等のやり取りは複数の職員による点検を行い渡し相違が無い様にいたします。なお、FAX 送信時には相手先番号を複数回確認しないと送信できないよう、機械的にも対応しています。
- ・ 保存期間を過ぎた個人情報は法人の定める規程により適正に処分します。

- ・業務に使用するパソコン及び周辺機器に関しては指定管理者受託法人のパソコン使用規定に基づき個人情報漏洩事故防止していきます。たとえば、PC本体にワイヤロックをかけるなどの対策を取っています。

キ 情報公開への取組について

利用者本人又は契約書代理人より個人情報の開示、訂正等の申し出がある場合は法人規程に則り情報開示又は訂正の手続きをしています。

- ・事業計画及び事業報告の冊子を館内の情報ラウンジに閲覧できる状態で配置して施設の運営状況を公開しています。
- ・介護サービス情報公表制度を活用して積極的に事業内容の公開に努めます。
*介護サービス情報公開制度：対象…居宅介護支援事業と通所介護サービスの介護保険事業。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ・過剰な電力消費を抑制するため、昨年度に引き続き、共用部分の照明の半減、施設ライトアップの短縮、エアコン設定温度を確認できるように各所に温度計を設置して節電に努めています。
- ・人口密度が高く、道路幅の狭い地域なので、職員の訪問には自動車よりも徒歩や電動自転車を使用しています。
- ・ゴミ出しの分別を徹底することにより、ゴミの減量とリサイクルに従前同様取り組んでいます。
- ・事務所内のデスクの使用方法を一部フリーアドレスとすることで内部資料の共有パソコンの共有、書類の削減を推進しています。

ケ 人権啓発への取組について

- ・個別相談時や高齢者サロン等機会を見つけて、引く続き成年後見制度の周知をしています。また、認知症が進んだ方やそのご家族からの成年後見制度の相談を受け、申立支援や専門職の紹介をしています。
- ・介護者ストレスが高じて虐待に至ることを防ぐ意味から、いつでも介護者から相談を受けられるよう定期的に介護者サロンを実施しています。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- 管理者 : 常勤 1 名 (地域包括支援センター社会福祉士を兼務)
計画作成担当者 : 常勤 4 名 (地域包括支援センター経験のある看護師と兼務 1 名、主任介護支援専門員との兼務 1 名、管理者・社会福祉士との兼務 1 名、専任の計画作成担当者 1 名 居宅介護支援事業所の介護支援専門員との兼務)
事務職員 : 常勤 1 名 (居宅介護支援事業所、通所介護事業所との兼務)

《目標》

介護保険法等の関係法令等に従い、当該担当地域内に居住する利用者に対し、可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な介護予防サービスが適切に利用できるよう、利用者の選択に基づいて介護予防サービス・支援計画書(以下介護予防ケアプラン)を作成するとともに、当該経計画に基づいて適切な介護予防サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者及び関係機関等との連絡調整、その他の便宜を提供しました。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- 介護予防ケアプラン作成担当が通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合は、その交通費(実費)の支払いが必要となります。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

利用者の状態や要望によっては、規定された回数以上の訪問や担当者会議を実施して、利用者の家族と定期的に連絡を取り、利用者の状態を適時把握しています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
135	139	143	144	145	143
10月	11月	12月	1月	2月	3月
144	141	140	150	147	148

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：常勤 1 名（介護支援専門員を兼務）
 介護支援専門員：常勤 7（専従 6 名、管理者兼務 1 名）

《目標》

介護保険法等の関係法令に従い、利用者に対し、可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスを適切に利用できるよう、利用者の選択に基づいて居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。

また、作成した計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整を密に取りました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ケアマネジャーが通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①常勤の主任介護支援専門員が配置されている。
- ②常勤かつ専従の介護支援専門員を 3 名以上配置。
- ③利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に開催しました。
- ④24 時間連絡体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を確保している。
- ⑤運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けていない。
- ⑥介護支援専門員 1 人当たりの平均利用者数が 40 人未満。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
165/33	167/36	168/23	177/38	180/43	180/42
10月	11月	12月	1月	2月	3月
181/39	182/41	180/41	183/41	188/50	182/52

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

介護保険法等の関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるようにサービスを提供します。

- 健康チェックサービス ●送迎サービス ●送迎介助サービス
- 機能訓練サービス ●排泄介助サービス
- 入浴サービス ●入浴介助サービス ●食事サービス ●食事介助サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 701円
 - (要介護2) 825円
 - (要介護3) 953円
 - (要介護4) 1,081円
 - (要介護5) 1,208円
- 食費負担 710円
- 入浴介助加算 53円
- サービス提供体制強化加算 I 13円 II 7円 (I、II いずれかを加算)
- 個別機能訓練加算 I 45円
- 介護職員処遇改善加算 I ご利用者負担合計金額の1.9%
- 一部行事費及び教養娯楽費 実費負担
- 交通費 (通常サービス提供地域以外でサービスを利用した場合)
 - 1キロにつき50円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:35~16:35

《職員体制》

- 管理者：常勤1名
- 生活相談員：常勤3名
- 看護職員：常勤4名 (機能訓練指導員を兼務)
- 介護職員：常勤13名、非常勤4名
- 事務職員：常勤1名 (居宅介護支援事業、介護予防支援事業との兼務)

《目標》

ご利用される皆様の身体機能の維持向上と心身のケアを目標にサービスを提供します。

《その他 (特徴的な取組、PR等)》

- ・サービスのプログラムを向上させるために、外部研修や内部研修、職員による勉強会等を実施します。
- ・利用者や家族に対してアンケートを実施して課題を抽出し、サービス内容を改善します

《利用者実績 (延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
959	972	953	1,002	873	910
10月	11月	12月	1月	2月	3月
957	909	944	918	846	1039

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

介護保険法等の関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるようにサービスを提供します。

- 健康チェックサービス ●送迎サービス ●送迎介助サービス
- 機能訓練サービス ●入浴サービス ●食事サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（1か月につき）
 - （要支援1） 2,230円
 - （要支援2） 4,465円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ（要支援1）51円 Ⅱ26円（ⅠⅡいずれかを加算）
- サービス提供体制強化加算Ⅰ（要支援2）102円 Ⅱ51円（ⅠⅡいずれかを加算）
- 食費負担（1回利用ごとに） 710円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ ご利用者負担合計金額の1.9%
- 一部行事費及び教養娯楽費 実費負担
- 交通費（通常サービス提供地域以外でサービスを利用した場合）
1キロにつき50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:35～16:35

《職員体制》

- 管理者：常勤1名
- 生活相談員：常勤3名
- 看護職員：常勤3名（機能訓練指導員を兼務）
- 介護職員：常勤13名、非常勤4名
- 事務職員：常勤1名（居宅介護支援事業、介護予防支援事業との兼務）

《目標》

ご利用される皆様の生活状況が、現状より低下しないように支援することで介護を必要としない健康的な在宅生活が継続できることを目標に、サービスを提供しています。

《その他》

- ・サービスのプログラムを向上させるために、外部研修や内部研修、職員による勉強会等を実施しています。
- ・利用者や家族に対してアンケートを実施して課題を抽出し、サービス内容を改善しています。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
88	114	105	112	137	90
10月	11月	12月	1月	2月	3月
76	68	68	73	74	94

● 地域密着 認知症対応通所介護事業

《提供するサービス内容》

介護保険法等に従い、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るように、認知症対応施設としてサービスを提供しています。

- 健康チェックサービス ●送迎サービス ●送迎介助サービス
- 入浴サービス ●入浴介助サービス ●食事サービス ●食事介助サービス
- 機能訓練サービス ●排泄介助サービス ●アクティビティの提供

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

- (要介護1) 1,105円
- (要介護2) 1,224円
- (要介護3) 1,345円
- (要介護4) 1,465円
- (要介護5) 1,584円
- 食費負担 710円
- 入浴介助加算 54円
- サービス提供体制強化加算 I 13円 II 7円 (I、II いずれかを加算)
- 介護職員処遇改善加算 I ご利用者負担合計金額の2.9%
- 一部行事費及び教養娯楽費 実費負担
- 交通費 (通常サービス提供地域以外でサービスを利用した場合)
1キロにつき50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:35 ~ 16:35 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

- 管理者：常勤1名
- 生活相談員：常勤4名
- 機能訓練指導員：常勤2名・非常勤2名
- 介護職員：常勤2名・非常勤2名

《目標》

自立した生活が少しでも継続できるようにご利用者の心身状況の維持向上を目指すとともに、家族の介護負担の軽減を考慮したサービスの提供をしています。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・季節感を感じられるような行事・レクリエーションの提供をしています。
- ・少人数制による本人の特技や趣味を活かした活動を支援しています。

《利用者目標(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
223	243	274	289	296	305
10月	11月	12月	1月	2月	3月
293	265	284	276	241	242

● 介護予防認知症対応型 通所介護事業

《提供するサービス内容》

介護保険法等に従い、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るように、認知症対応施設としてサービスを提供しています。

- 健康チェックサービス ●送迎サービス ●送迎介助サービス
- 機能訓練サービス ●入浴サービス ●食事サービス ●アクティビティ

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 956円
 - （要支援2） 1,067円
- 食費負担 710円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ 13円 Ⅱ 7円（Ⅰ、Ⅱ いずれかを加算）
- 一部行事費及び教養娯楽費 実費負担
- 交通費（通常サービス提供地域以外でサービスを利用した場合）
1キロにつき50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:35 ~ 16:35（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

- 管理者：常勤1名
- 生活相談員：常勤4名
- 機能訓練指導員：常勤2名・非常勤2名
- 介護職員：常勤2名・非常勤2名

《目標》

ご利用者の心身の安定を図るよう支援をして、認知症の進行を遅らせるサービス提供を行ないました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・季節感を感じられるような行事・レクリエーションの提供を行ないます。
- ・少人数制による本人の特技や趣味を活かした活動を支援しています。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	0	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- ・窓口を訪れる方については相談内容に応じて担当部門が迅速に対応しています。担当部門は必ず事務所にいることを心がけ、万が一不在時には必要な範囲で連絡先や内容をお聞きし、担当につなぐ連携が来ています。これは非常勤職員にも徹底しています。また、必要に応じて携帯電話を携帯し、緊急時には即時対応できる体制を整えています。
- ・ケアプラザの事業やサークル活動時に受ける相談については専門職につないでいます。
- ・公園遊びをテーマにした子育て広場では子供の見守りが必要なので、ゆっくり相談を受ける環境が作れていません。今後会場を変更するなどの検討を担い手に促します。
- ・サークル活動を行っているケアプラザ登録団体と個別に意見交換する機会を設け、気軽に相談をしていただく環境を作ります。
- ・認知症カフェの開催をにらんで、地域交流部門、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターの連携のみならず、南区、睦地域ケアプラザ、浦舟地域ケアプラザ、中村地区センター共催で、認知症の方を支援している担い手向けの「認知症啓発講座」を実施しています。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・地域活動交流が把握する情報や地域ニーズを地域包括3職種と共有し5職種として協働するため月1回の定例会及び状況に応じて随時意見交換の行える環境を整えました。
- ・地域包括3職種の専門性と、地域活動交流の地域情報やつなぐ力とともに地域の生活者の視点や、新たに配置された生活支援コーディネーターの地域アセスメントを取り入れた自主事業を企画実施し、支援しました。
- ・高齢者サロン支援では「街の先生」を講師に招いて脳トレや介護予防のための健康講座、リハビリ体操を行いました。また介護保険などの制度についても要望に応じて説明しました。
- ・老人クラブや友愛訪問委員会には毎回出席するようにし、ケアプラザからお話をする時間をいただいて情報を伝えご質問をいただく機会としました。内容は全部門で共有しました。
- ・生活支援体制整備事業に必要な情報やデータを共有が可能な部分に於いて各部門より収集し、担当地域でのニーズ把握やサービス内容の傾向を把握しました。

3 職員体制・育成

- ・所長、地域包括3職種、コーディネーター（地域交流・生活支援）の常勤職員の欠員が発生しないように適切に配置したかったのですが、結果として、地域活動交流コーディネーター職が4か月、保健師職（看護師）が2か月欠員となってしまいました。欠員が出ないよう法人内の人事管理も含め、不測の事態においても、人員配置に支障がないよう人事体制を整えるよう努めます。
- ・法人本部主催で毎年1回、改善研究発表大会を開催して日常業務の成果を、報告発

表する機会を設け職員の育成を進めています。

- ・法人本部人事部と連携して、管理者・中堅職員・初任者・準職員に分けて職務研修を実施しています。また、外部での研修にも可能な限り、受講しています。
- ・日常的恒常的な育成については各部門が協力し指導をしています。具体的には始業時前後に10分程度の「ショートミーティング」の形態で実施していきます。

4 地域福祉のネットワーク構築

・様々な福祉保健団体や地域の活動団体が集まる機会が多くなる可能性があり、地域活動に関心を持っていただく良い機会になりました。

こうしたことで、地域の現状や課題を再検討し福祉ネットワークが強化されるように心がけました

・民生児童委員会、保健活動推進委員会、地区社会福祉協議会、連合町内会、単位町内会、老人クラブの定例会や総会に出席し地域包括ケアシステムについて説明する機会としました。

・南区の地域活動ホーム主催するレインボーフェスタは浦舟、中村エリア福祉施設、教育機関が実行委員となって開催するフェスタであり月1回の定例会で事業の企画運営のほか、情報交換の場として利用しました。

・地区社協との共催事業である中村地区内の施設、教育機関合同で行う施設連絡会の事務局としてまた、一福祉施設として参加します。グループワークを行うプログラムなどにより密な情報交換ができるように努力しました。

5 区行政との協働

・南区地域福祉保健計画第3期中村地区別計画策定を地域主体で行うために区役所、社協と連携して支援しました。

・高齢者支援、障がい児者支援、子育て支援に関する事業を行う際には、区の担当者にご相談しながら結果はメールや書面で状況報告しながら行いました。

・月1回の区役所、区社協、ケアプラザ定例連絡会にてそれぞれの部門からの報告と情報伝達のほか、地区社協や老人クラブその他の現状把握と課題の抽出を行いました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

・毎月1回広報紙の発行、ホームページの更新、南区の子育てカレンダーの更新を行いました。広報紙は、地区内の掲示板、回覧板で配布し、南区内の施設、学校、病院などへ手持ちまたは郵送で配布しました。

・中村地区の福祉保健団体や老人クラブ、町内会の会合や登録団体の活動時には広報紙や講座のチラシを配布して説明する機会にしました。

・中村地域ケアプラザの登録団体連絡会を年5回開催し各団体からの要望や意見をお聞きしました。

・自主事業を企画するときには地域住民の希望や要望を取り入れたものにするため様々な機会をとらえてお話をお聞きしました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・毎月一日の貸館予約日には登録団体が広く公平にケアプラザを利用していただくため部屋利用日が重なった場合は話し合いにより譲り合う話し合いで解決して頂きました。
- ・貸館の利用法や、部屋の空き情報を掲示して活動しやすくしました。
- ・地域内外のボランティアニーズ情報を収集し、マッチングした団体や個人の活動場所としてお伝えしました。
- ・横浜市シニアボランティアポイント講習会を開催したり、近隣の講習会の日程をお知らせするなどして活動にやりがいを持っていただくよう支援しました。

3 自主企画事業

- ・中村地区別計画の課題やニーズを念頭に企画するよう心掛けました。
- ・利用の多い高齢者世代向けの講座としストレスなく参加しやすいお食事会、手芸や、折り紙、フラワーアレンジメント講座などを企画し外出し、出会いの場としていただきました。
- ・子育て支援事業として、子育てサークル参加者から現在流行っていることや企画して欲しい事を直接聞いて事業の企画とともに講師役になってもらうなど協力していただきました。要望によりケアプラザ祭りでフリーマーケットのコーナーを新設しました。
- ・障がい児余暇支援では対象を小学生に限らず、中学生・高校生まで広げ今後は大人を含む誰でも参加可能な事業にすることになりました。アートで遊ぼうという企画を行いました。
- ・外国文化交流事業として、「ブラジル料理と文化」を行い家庭料理や民族舞踊、日常生活について学び交流しました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ちょっとボランティア草むしり隊グループの立ち上げから1年が経過し、名称を「中村地区ボランティアちょっとお助け隊」として地区内で21名、26回活動しました。草むしり以外にも電球、電池の取り換え、家具解体、水道修理、窓拭きなど活動内容を拡大しました。
- ・「中村地区ボランティアちょっとお助け隊」の全体会議を2回開催し情報を共有しました。
- ・去年は6名の登録者で活動を開始しましたが、28年度は21名まで登録者が増えました。今後も担い手の募集に注力します。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・高齢者を始め地域住民の様々な相談を窓口対応及び、高齢者サロンのど地域の様々な場面で受け止め、相談内容を的確に把握して対応しました。
- ・相談内容に応じて適切な情報提供するとともに、関係機関や制度につなげ事業等に反映させました。
- ・地域包括支援センター内で法人内情報管理システムを使い、だれでもすぐに総合相談の内容が把握できる環境を作り、また週1回のミーティングを実施し総合相談の内容、特に困難ケース等の情報共有、対応の検討を行い、適切に継続フォローができる体制を作りました。
- ・高齢、障害、子育て等各分野の相談対応を職員が一律にできるよう、マニュアルを整備しました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・民生・児童委員や友愛活動推進員、中村地区連合町内会の定例会の参加や地域で活動しているケアマネジャー等関係機関と定期的な意見交換を行い、顔の見える関係作りを進めました。
- ・地域の高齢者サロンが定着してきており、毎回地域包括支援センター職員が参加し、支援を継続することで、サロンの担い手や参加者と安定した関係作りを通じて様々な情報を集め共有することができるよう心がけました。
- ・「中村地区福祉関係機関・団体との連絡会」に積極的に参加し、中村地区圏域内の施設ネットワーク構築のための支援を行いました。
- ・地域ケア会議を定期的に開催して担当職員、ケアマネジャー等福祉関係機関、医療機関、町内会役員や民生・児童委員等地域住とのネットワークづくりに取り組みました。

実態把握

- ・総合相談の結果を踏まえた、圏域内の実態把握に努めてきたが、行政資料等の各種統計資料等からデータとして地域の実態を「見える化」し、課題となっている問題点やニーズを把握し課題解決につなげています。
- ・地域からの相談や関係機関の情報を収集して地域の様々な課題を把握し、地域ケア会議につなげました。
- ・月1回の南区担当職員とケースカンファレンスを実施し、最新の地域情報を共有しています。
- ・地域ケア会議（包括レベル）を活用し、地域関係者と情報共有し、問題把握、課題解決のための意見交換を行っています。

2 権利擁護

権利擁護

- ・ 権利擁護の地域向け講座として、成年後見制度活用講座を開催し経済的虐待や悪質商法への対策、認知症状の増悪から金銭管理が出来なくなった時の有効な制度であることを伝え、普及啓発を行いました。
- ・ 個別相談時や高齢者サロン等機会を見つけて、成年後見制度の周知を行っています。
- ・ 認知症が進んだ方やそのご家族からの成年後見制度の相談を受け、申立支援や専門職の紹介をしています。また、独居でご家族がいない方については、南区担当職員につなげ、区長申立の検討と、後見人が選任されるまで、生活が滞らないよう支援しています。

高齢者虐待

- ・ 虐待のケース、虐待の恐れのあるケースに関して、横浜市高齢者虐待防止事業の指針に基づいた対応を進めています。
- ・ 虐待のケースに関して、状況が悪化しないよう、速やかに南区担当職員と情報共有し担当のケアマネジャーも含めてケースカンファレンスを重ね、支援計画を作成し、それに基づきそれぞれの分担を決めて連携した対応をしています。
- ・ 介護者ストレスが高じて虐待に至ることを防ぐ意味から、いつでも介護者から相談を受けられるよう月に1回（年間10回）介護者サロンを継続実施しました。
- ・ 地域向けの高齢者虐待防止の講座を昨年度（3月）に実施したため、今年度は行わず、平成29年度以降実施していきます。

認知症

- ・ 認知症の正しい理解の促進のため、中村地区で活動している認知症キャラバンメイト（なかむらキャラバンメイトの会）の皆さんの活動を支援し、中村地区センターで職員向けの講座、中村小学校・石川小学校で5年生向けの講座、マンション（横浜ダイカンスポーツメント）で住民向けの講座として、認知症サポーター養成講座を行いました。
- ・ レインボーフェスタでは、南区役所、中村・浦舟・睦地域ケアプラザ共催で、地域住民向けに認知症啓発講座として精神科医師を講師に迎え、軽度認知障害・若年性認知症の方の支援についての講座を行いました。また、中村地区社会福祉協議会の研修「なかむらアカデミア」で認知症キャラバンメイトを講師に認知症の講座を行いました。
- ・ 認知症の人と介護者が安心して、地域で暮らせるよう介護者サロンを毎月1回（年間10回）開催して、認知症の人や介護者の支援に努めました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・ 地域事業対象者把握のための、お元気で21健診の区版をカサ・デ・サンタマリアで、包括版を中村地域ケアプラザで行いました。また、ケアプラザまで足を運ぶ機会のない高齢者対象に出前版のお元気で21健診を中村町5丁目集会所、山谷地区にある天理教金港分教会でも行い、事業対象者の把握に努めました。

- ・把握した事業対象者の受け皿として、生活支援コーディネーターと協力し、地域資源の把握し活用の検討、また、お元気づくりステーションの3ヶ所目（コグニでG o G O）の立ち上げに努めました。
- ・委託したケースに関しては、担当ケアマネジャーと日常的に協力をして、要支援者の主体性や意欲を引き出す目的志向型の介護予防ケアマネジメントに取り組みました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・圏域内で委託をお願いしている、居宅介護支援事業所のケアマネジャーとは、日常的に連携し、適切なケアマネジメントができるよう支援しました。
- ・研修については、南区役所・南区内8包括と連携し「ケアマネジャー力向上研修」「精神疾患への対応とケアマネジャーのメンタルヘルスケア」を行いました。また南区内8包括、ケアマネ連絡会、近隣病院等の情報収集をし、サイボウズL I V Eを活用して情報提供も行いました。
- ・圏域内で委託をお願いしている居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にした勉強会として「かかりつけ薬剤師・薬局みについての学習会」や民生・児童委員との顔の見える関係作りと情報交換を目的に「民生委員・ケアマネ懇談会」を行いました。

医療・介護の連携推進支援

- ・医療連携のためにケアマネジャーやヘルパー事業所職員等を対象に薬剤師を講師に招き「かかりつけ薬剤師・薬局についての学習会」を行いました。
- ・地域ケア会議に病院の医療職（理学療法士）を招き、医療的な視点での助言を頂くと共に医療職と介護職、地域住民との関係作りに取り組みました。
- ・南区在宅療養支援ネットワーク会の事務局メンバーとして運営に協力し、在宅医療連携拠点の会議体として医療・介護の連携を進めました。
- ・南区医師会・在宅医療相談室主催のケアマネジャー向けの医療連携・多職種連携を目的とした事例検討会開催に協力しました。

ケアマネジャー支援

- ・サイボウズL I V Eを活用した、圏域内外の事業所とのネットワークを活用し、研修情報、法改正や法解釈等について情報共有をしました。
- ・南区内の地域包括支援センター合同でインシデントプロセス法を用いた事例検討会を開催し、ケアマネジャー支援をすすめています。
- ・南区内8包括と連携して、圏域内の新人ケアマネジャー研修を受け入れをし、研修等の支援を行いました。
- ・圏域内で活動するケアマネジャーのケアプランの確認・アドバイス等を行いました。
- ・電話や窓口によるケアマネジャーからの相談、助言を行っています。
- ・圏域内の居宅介護事業所のケアマネジャーを対象にした勉強会として「かかりつけ薬剤師・薬局についての学習会」や、民生・児童委員との顔の見える関係作りと情報交換を目的に「民生委員・ケアマネ懇談会」を行いました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・町内会役員、民生・児童委員、医療関係者、ケアマネジャーを招いて、年3回の個別事例地域ケア会議を開催し、「引籠りのケース」で地域の支援が成功しているケース、十分できないケースを取り上げ、会議を通じて地域で「孤立化」を防ぐ「つながりのある地域」をどのようにしたら作れるかをテーマに包括版の地域ケア会議を開催し、地区全体での具体的な取組の方向性を検討しました。
- ・南区在宅療養支援ネットワーク会の事務局メンバーとして運営に協力し、他職種間のスムーズな連携システム構築に努めました。

5 介護予防事業

介護予防事業

- ・地域活動交流担当と連携を取り、老人会やカサ・デ・サンタマリアで行われている食事会、自主活動グループに参加しました。その中で脳トレ・介護予防につながる健康の話など、情報提供や活動参加を促しました。
- ・今年度エリア内に2か所ある「元気づくりステーション」は、それぞれ「きんようゆ」は自主活動移行期、「カサデはつらつ体操」は直営期として主体的にできるような活動してきましたが、運営継続をすることが中心の支援となってしまう、参加者の高齢化もあり担い手がおらず、自主活動化に向けて計画的な支援には至りませんでした。平行して新規の「元気づくりステーション」として「コグニでGOGO」の立ち上げ準備を行いました。
- ・中村地域ケアプラザで活動しているグループの代表者が集まる「なごみの会」を利用して介護予防のきっかけとなる情報提供とそれぞれに取り組んでもらうことを目的にコグニサイズの方法の講座や、介護予防サポーターのスキルアップを目的にアイスブレイクの講座をお子に余した。
- ・事業対象者把握をお元気で21健診で行った後、事業対象者が介護予防活動に取り組める機会が持てるよう、年間を通じてG.O!G.O!健康講座（介護予防講座）をハマトレ体操、口腔ケア、栄養改善、認知症予防（コグニサイズ）のテーマで行い、介護者サロンを会場にその参加者等を対象とした出前健康講座も行いました。
- ・中村地区社協主催の地域住民向けの「七夕フェスタ」、「冬祭り」に合わせて健康測定を行い、健康意識を高める取組も行いました。

6 生活支援体制整備事業

- ・生活支援体制整備事業及び生活支援コーディネーターについて、町内会、老人会をはじめ福祉保健団体、ボランティア団体に周知活動を行い、その都度各町内会の活動内容活動の状況、困り事や課題としていることなどの情報を収集しました。
- ・支援が必要な高齢者、また増加が予測される認知症を発症された方を地域の中で見守り支援する体制づくりとして、居場所づくり、支援する担い手育成などを地域の理解と協力体制を整えることが必須であるため、今ある高齢者のお茶のみサロンの現状把握するよう努めました。

・老人クラブで行っているお茶飲み会とは別に独立しただけでも参加できるサロンを開催するよう支援し新たに立ち上げることができました。

・また今後、個人宅を提供しサロンを開催する為、会場周知のためのイベントを行った。地域ケア会議の内容によって協議体となる会議を行ったが、今後地区全体の共通課題を抽出し共通認識をもって支援体制を構築する支援を行っていきます。

7 その他

・中村地域ケアプラザ圏域の町丁目別・年齢別人口とその推移、高低差等を数値化し、連合町会や地区社協、ボランティア団体等と、今の中村地区の現状と課題を共有するよう努めました。

・その結果かどうか定かではありませんが、平楽地区はじめ、様々な場所で「高齢者サロン」等の動きが活発化し始めました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：横浜市中村地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	18,716	22,996	151	0	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	8,535	39,990	125,439	5,799	49,803	0
	その他	603	205	0	0	50	470	0	156	0
	その他の収入	0	0	0	0	50	470	0	156	0
	修繕費追加分	398	106	0	0	0	0	0	0	0
	事業費収入	163	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務費収入	42	100	0	0	0	0	0	0	0
	収入合計(A)	19,319	23,201	151	8,535	40,041	125,909	5,799	49,959	5,789
支出	人件費	10,062	20,221	0	1,024	32,693		80,110	30,334	5,615
	事務費	1,367	671	0	113	1,698		5,189	1,656	
	事業費	558	233	151	0	417		10,603	3,594	57
	管理費	3,848	1,022	0	0	906		13,779	4,543	
	その他	805	0	0	5,127	0		0	0	0
	消費税	805	0	0	0	0		0	0	0
	委託料	0	0	0	5,127	0		0	0	0
		0	0	0	0		0	0	0	
	支出合計(B)	16,640	22,146	151	6,264	35,713		109,680	40,126	5,672
	収支 (A) - (B)	2,679	1,055	0	2,271	4,328		22,027	9,833	117

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援 ぽっかぽかランド (旧 広場)	<p>【目的】 子育て支援についてインフォーマルサービスや自助サークルの少ない地域であるための拠点づくり将来自主活動できるサークルづくり。</p> <p>【内容】 中村地区社会福祉協議会共催事業として実施した。地域で子育てしている養育者に対し保健活動推進委員や主任児童委員が相談にあたるなど集いの場を提供した。参加者同士が、育児や日常の話をしてリフレッシュできる場所となるように支援し仲間作りの場となるようにした。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 公園支援者と公園 で遊ぼう ふれんど	<p>【目的】 公園を会場として開催する子育て支援事業。外遊びを体験する支援事業。</p> <p>【内容】 中村地区の公園を会場として行う子育て支援事業。子育て支援者が子供と遊んだり、保護者、養育者に公園での遊びを指導する。また、子育てについての相談や、地域の子育てサークルの紹介した。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 へいらくひよこ 広場	<p>【目的】 子育て支援についてインフォーマルサービスや自助サークルの少ない地域であるための拠点づくり将来自主活動できるサークルづくり。</p> <p>【内容】 丘陵地の為、他の地区へ出かけることの不便な場所の為、地域内の町内会館を利用し開催する子育てサロン。中村地区社会福祉協議会共催で実施した。地域で子育てしている養育者に対し地域の担い手グループや主任児童員が相談にあたり、遊びの指導を行った。また、参加者同士が、育児や日常の話をしてリフレッシュできる場所となるように支援し仲間作りの場となるようにした。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 中村地区子育て 3拠点交流会	<p>【目的】 中村地区子育て3拠点のそれぞれの参加者と担い手の交流会を開催し情報交換や友達作りの機会とする。</p> <p>【内容】 中村地区社会福祉協議会共催事業として実施する。季節の行事であるクリスマス、お芋ほり、春祭りを地域の老人クラブや町内会の協力を得て実施した。</p>	年2回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支援（放課後余暇支援事業 異世代、異文化、健全、障害児交流） なかむらアートクラブ	<p>【目的】 地域の子供たちの放課後余暇支援が目的。外国人教育生活相談所に通う子供たちや障がいのある子供もいっしょに集える場の提供。</p> <p>【内容】 担い手支援活動団体「アトラボオーバ」によるアート活動。作品となるものは展示して楽しむ。日ごろさまざまな違った環境にいる子供たちが同じ空間で遊ぶ場を提供した。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 夏休み子ども教室	<p>【目的】 就園児、小学生対象長期休暇余暇支援</p> <p>【内容】 手芸や料理を行ったり 陶芸を体験してもらう機会を提供し、地域活動やボランティア活動を知っていただく機会とした。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児余暇支援 ポップンハート アートで遊ぼう	<p>【目的】 障害児の余暇支援事業をボランティアの協力で行うことで、障害者を地域で支える環境づくり。</p> <p>【内容】 ボランティア、地域住民の協力による学齢障がい児の余暇支援活動の実践。アートでさまざまな活動をする団体と企画、地域のボランティアとともに、作品を作ったり、簡単な料理やおやつ作りをした。 広報、経費、ボランティア募集はケアプラザが担当した。</p>	年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支援 異世代交流 食事会 だれでもランチ	<p>【目的】 ボランティア育成事業として開催した「男の料理教室」が地域住民の異世代交流のための支援活動として行う。</p> <p>【内容】 男の料理教室で学んだ知識と技術によって地域住民誰でもが参加できる（年齢を問わない）食事会を開催し交流した。 広報を行い、食事会でレクリエーション活動をするボランティア団体のコーディネートを行った。</p>	年4回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中村社協主催 「健康と福祉 七夕フェス タ」	<p>【目的】 地区社会福祉協議会が主催となり、横浜市地域福祉保健計画中村地区計画の実践事業の支援。</p> <p>【内容】 中村地区社会福祉協議会が主体となる「なかむらふるさとづくり実行委員会が主催して行う健康と福祉フェスタ。中村地域ケアプラザの登録団体や地域住民によって企画運営をする。中村地区をふるさとにしようという目的。地域の子供たちが楽しく交流できるコーナーや各種模擬店を設け活動団体の活動発表を行う。包括支援センターによる健康測定コーナーも開設。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援 健康と福祉中村 ケアプラ冬祭り	<p>【目的】 横浜市地域福祉保健計画中村地区計画の実践事業。</p> <p>【内容】健康と福祉フェスタ。 中村地域ケアプラザの登録団体や地域住民によって企画運営をする。包括支援センターによる健康測定コーナー、食生活改善等委員会、地区社会福祉協議会共催で行った。</p>	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中村地区社協南 いきいき中村地 区の集い	<p>【目的】 地域の高齢者の生活活性化激励の意味をもつ、中村地区社会福祉協議会の交流会。</p> <p>【内容】 町内会ごとに参加者を数人ずつ招集し地区社会福祉協議会、ケアプラザの協力で演芸会やグループワークを行った。</p>	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中村地区社会福 祉協議会施設連 絡会	<p>【目的】 中村地区内にある福祉保健団体や町内会活動をする住民に対し地区社協の意味や地域との係わりについて学ぼうとする。</p> <p>【内容】 南区社会福祉協議会や地域支援活動者、施設などから講師を招き講座を開催した。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
	<p>【目的】</p>	

平成28年度 自主事業報告書

認知症サポーター養成講座	地域の住民や公的施設職員に向けてに、認知症に対する正しい知識と認識を持っていただく。また認知症を発症しても暮らしていけるような地域の体制を作るための人材育成をする。 【内容】 キャラバンメートの資格を持つ講師を招き、ビデオで事例を見た後に講師の話聞き質疑応答をする。	年2回
--------------	--	-----

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症キッズサポーター養成講座	【目的】 小中学校に通う生徒に向けてに、認知症に対する正しい知識と認識を持っていただく。また認知症を発症しても暮らしていけるような地域の体制を作るための人材育成をする。 【内容】 キャラバンメートの資格を持つ講師を招き、ビデオで事例を見た後に講師の話聞き質疑応答をする。	年2回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援ボランティア育成シニアボランティアポイント講座	【目的】 高齢者の活動の場の提供と生きがいの場づくり。 【内容】 市内の講座の情報を伝えるほかケアプラザの職員が講師となって講座を開催する。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援食事会四季の会	【目的】 独居または老人世帯、日中独居の地域の高齢者のための交流の場の提供と情報提供交換の場とし給食支援活動を行う。 【内容】 民生委員また南区食生活等改善委員の地区担当有志による4ヶ月に1回地域の食事会を開催する。 広報を行い、食事会でレクリエーションの企画などを行う。	年4回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ 手芸などの工作講座	<p>【目的】 街の先生の登録者や地域の指導者を招き、高齢者をはじめ地域住民の交流の場を提供する。</p> <p>【内容】 手芸など参加しやすい講座を開催し高齢者の集まる機会を提供する。</p>	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ 文芸、歴史探訪講座	<p>【目的】 男性も参加しやすい講座を開催し高齢者の集まる機会を提供する。街の先生の登録者や地域の指導者を招き、高齢者をはじめ地域住民の交流の場を提供する。</p> <p>【内容】 街の先生の登録者や地域の指導者を招き、高齢者をはじめ地域住民の交流の場を提供する。</p>	年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ ノルディックウォーキング講座	<p>【目的】 男性も参加しやすい講座を開催し高齢者の集まる機会を提供する。街の先生の登録者や地域の指導者を招き、高齢者をはじめ地域住民の交流の場を提供する。</p> <p>【内容】 街の先生やノルディックウォーキング講師を招き、高齢者をはじめ地域住民がアウトドアで楽しく運動ができる交流の場を提供する。</p>	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ 初めての英会話	<p>【目的】 男性も参加しやすい講座を開催し高齢者の集まる機会を提供する。街の先生の登録者や地域の指導者を招き、高齢者をはじめ地域住民の交流の場を提供する。</p> <p>【内容】 英語で簡単なあいさつや会話をする講座。街の先生の登録者や地域の指導者を招き、高齢者をはじめ地域住民の交流の場を提供する。</p>	年6回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援 お茶のみサロン はつらつ元気会	<p>【目的】 民生委員や地域の担い手が、お茶のみサロンをを開催し高齢者をはじめ誰でも気軽に立ち寄れる機会を提供する。</p> <p>【内容】 担い手や街の先生の登録者、地域の指導者による介護予防のための脳トレとしてクイズや手作り講座、体操等を行う。またカラオケなどを楽しむ。地域住民の交流の場としてお茶飲み会を行う。</p>	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援 お茶のみサロン ほっとやすらぎ会	<p>【目的】 民生委員や地域の担い手が、お茶のみサロンをを開催し高齢者をはじめ誰でも気軽に立ち寄れる機会を提供する。</p> <p>【内容】 担い手や街の先生の登録者、地域の指導者による介護予防のための脳トレとしてクイズや手作り講座、体操等を行う。またカラオケなどを楽しむ。地域住民の交流の場としてお茶飲み会を行う。</p>	年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援 お茶のみサロン はばたき会	<p>【目的】 民生委員や地域の担い手が、お茶のみサロンをを開催し高齢者をはじめ誰でも気軽に立ち寄れる機会を提供する。</p> <p>【内容】 担い手や街の先生の登録者、地域の指導者による介護予防のための脳トレとしてクイズや手作り講座、体操等を行う。またカラオケなどを楽しむ。地域住民の交流の場としてお茶飲み会を行う。</p>	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援 お茶のみサロン 八幡 お茶のみ茶房	<p>【目的】 民生委員や地域の担い手が、お茶のみサロンをを開催し高齢者をはじめ誰でも気軽に立ち寄れる機会を提供する。</p> <p>【内容】 担い手や街の先生の登録者、地域の指導者による介護予防のための脳トレとしてクイズや手作り講座、体操等を行う。またカラオケなどを楽しむ。地域住民の交流の場としてお茶飲み会を行う。</p>	年6回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者支援介護者の集い中村いきいき会	<p>【目的】 介護者のストレスを解消する場の提供。介護支援制度の情報提供や情報交換。</p> <p>【内容】 現在介護中、また今後のためにとの目的での参加者の交流。制度の話しや様々な福祉サービスについて情報提供をする。また介護施設の見学を行う。</p>	年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食品衛生講座	<p>【目的】地域及び公共の場で食品を扱う事業の担い手や家庭で調理を行う住民の食に関する安全な扱い等の講座。また職員も講座を受講し食の安全について学ぶ機会とする。</p> <p>【内容】行政の担当者による講座を実施する。</p>	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
異文化交流料理と文化講座	<p>【目的】 地域に暮らす外国人との交流を深め、互いの文化を知り共に協力支援しあう関係作り。</p> <p>【内容】 その国の料理とともに歴史文化を学ぶ。交流のなかで違いや共通点を知り理解を深める。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援 なごみギャラリー	<p>【目的】 地域交流室を利用する登録団体の交流が目的。情報ラウンジ、廊下の壁面を利用して地域住民、ケアプラザ利用者の作品展を開催する。ボランティアの場を提供する。</p> <p>【内容】 中村地域ケアプラザ内の壁面や情報ラウンジを活用して作品の展示を行う。ケアプラザ外で活動している人や町内会で活動している人は情報を得て発表の場として利用していただく。</p>	通年

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援 登録団体 なご みの会連絡会	<p>【目的】 地域交流室を利用する登録団体の交流が目的。情報ラウンジ、廊下の壁面を利用して地域住民、ケアプラザ利用者の作品展を開催する。ボランティアの場を提供する。</p> <p>【内容】 中村地域ケアプラザ内の壁面や情報ラウンジを活用して作品の展示を行う。ケアプラザ外で活動している人や町内会で活動している人は情報を得て発表の場として利用していただく。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中村浦舟地区福 祉施設及び教育 機関連携 レインボーフェ スタ フリーマーケット	<p>【目的】 中村、浦舟ケアプラザ協力しフリーマーケットコーナーを運営する。</p> <p>【内容】 レインボーフェスタ実行委員会のメンバーとして参加協力しブースをだす。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援 図書コーナー	<p>【目的】 情報ラウンジの利用促進。また地域の方の憩いの場として誰でも予約なく利用しくつろげる場を提供する。</p> <p>【内容】 図書コーナーとして市立図書館から払い下げられた書籍を中心に子供の絵本などを設置する。希望者には館外への貸し出しも行う。</p>	通年

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②述べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
子育て支援 ぽっかぽかランド(旧 広場)	乳幼児						
	特になし	0	0	0	0	0	0
子育て支援 公園支援者と公園で遊ぼう ふれんど	乳幼児						
	特になし	0	0	0	0	0	0
子育て支援 へいらくひよこ広場	乳幼児						
	特になし	100	0	0	0	0	0
子育て支援 中村地区子育て3拠点交流会	乳幼児、こども						
	特になし	0	0	0	0	0	0
地域支援(放課後余暇支援事 業 異世代、異文化、健常、障 害児交流) なかむらアートクラブ	こども						
	40名	0	140,556	-140,556	0	133,644	0
子育て支援 夏休み子ども教室	こども						
	20名	200	15,814	-12,214	3,600	0	15,814
障がい児余暇支援 ポップンハートアートで遊ぼう	障害児						
	8名	500	50,865	-40,865	10,000	44,548	0
地域支援 異世代交流 食事会 だれでもランチ	高齢者・地域						
	30名	300	0	0	0	0	0
中村社協主催「健康と福祉 七夕フェスタ」	こども・地域						
	300名	0	0	0	0	0	0
地域支援 健康と福祉中村ケアプラ冬祭り	地域						
	300名	0	51,648	-51,648	28,650	0	34,559
中村地区社協南いきいき中村 地区の集い	高齢者						
	特になし	0	0	0	0	0	0
		258,883	-245,283	42,250	178,192	50,373	30,318

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②述べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
中村地区社会福祉協議会施設 連絡会	地域						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
中村地区社協南いきいき中村 地区の集い	高齢者						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
中村地区社会福祉協議会施設 連絡会	地域						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
認知症サポーター養成講座	地域						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
高齢者支援 ボランティア育成 シニアボランティアポイント講座	高齢者						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
高齢者支援 食事会 四季の会	高齢者						
	40名						
	300	0	0	0	0	0	0
高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ 手芸などの工作講座	高齢者						
	20名						
	1200~1500	61,795	-16,695	45,100	11,138	50,657	0
高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ 文芸、歴史探訪講座	地域						
	特になし						
	200	12,405	-6,405	6,000	11,138	1,267	0
高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ ノルディックウォーキング講座	高齢者						
	特になし						
	0	2,800	-2,800	0	0	0	2,800
高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ 初めての英会話	高齢者						
	10名						
	2000(月)	33,641	-33,641	25,864	27,845	5,796	0
高齢者支援 お茶のみサロン はつらつ元気会	高齢者						
	特になし						
	100	0	0	0	0	0	0
		110,641	-59,541	76,964	50,121	57,720	2,800

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②述べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者支援 お茶のみサロン ほっとやすらぎ会	高齢者						
	特になし						
	100	0	0	0	0	0	0
高齢者支援 お茶のみサロン はばたき会	高齢者						
	特になし						
	200	0	0	0	0	0	0
高齢者支援 お茶のみサロン 八幡 お茶のみ茶房	高齢者						
	特になし						
	200	0	0	0	0	0	0
高齢者支援介護者の集い中村 いきいき会	高齢者						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
食品衛生講座	地域						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
異文化交流 料理と文化講座	地域						
	10名						
	800	9,266	-2,066	7,200	5,569	3,697	0
地域支援 なごみギャラリー	地域						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
地域支援 登録団体 なごみの会連絡会	地域						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
中村浦舟地区福祉施設及び教 育機関連携 レインボーフェスタ フリーマーケット	地域						
	特になし						
	0	645	-645	0	0	645	0
地域支援 図書コーナー	地域						
	特になし						
	0	0	0	0	0	0	0
		0					
		9,911	-2,711	7,200	5,569	4,342	0